

2024年4月1日入学式来賓あいさつ

学校法人大阪観光大学理事長の山本です。新たな人生に一步踏み出したみなさん、おめでとうございます。また新たな一步の場として大阪観光大学を選んでいただいたことに感謝を申し上げます。

日本には、約八〇〇の大学があり、アジアの諸国にも多くの大学があります。その多くの大学の中で、日本の大学、そして大阪観光大学を選んでいただいたことを大阪観光大学のすべての教職員を代表して感謝申し上げます。またご家族にも、同じ気持ちをお伝えしたいと思います。

大阪観光大学は、アジア10ヶ国以上の若者が集い学ぶ大学です。アジアの若者のための大学といってもいいでしょう。日本で生まれ、日本語で学んでこの大学に入学された方、日本以外で生まれ、したがって日本からすれば外国語、その国・地域の言語・母語で学び、そして日本の大学での学びを求めて日本語を習得し今日入学されたが、これから4年間、時間と空間を共有していくことになります。

私たちは、いま同じ時代に生き、同じ場所にいるわけですが、時間をさかのぼれば異なった歴史、異なった文化、異なった言語、異なった生活様式を背負っていまを生きているわけです。現在は長い過去と繋がっています。

私たち人類、ホモサピエンスがアフリカを出たとおきには、おそらく同一のものだったとわけですが、長い時間のなかで身体的にも文化的にも、目に見えるだ

けでも多様性ある存在になっています。目に見えない精神的文化的、さらには政治的認識や判断も多様性をもっているわけです。それゆえにおおきくいえば戦争、国家対立となり、生活レベルにおける異文化の排除ということも生じています。

本学は、アジアの若者のための大学といましたが、アジアの諸地域の歴史、文化等を背負った若者、教職員が集う場であるということです。こうした歴史的に形成された人間としての相違、多様性を交流、対話のなかで深く認識し、ともに学ぶことを通して相互に尊重できる大学というコミュニティを作り上げていきたいと思います。

私は大学の経営者として、本学が、学生のみなさん、教職員、その相互が自他の「人間形成上の諸課題」（『大学憲章2020』）を深く認識し、教え教えられ、支え支えられるコミュニティとして、お互いの希望と未来を築く場となるよう尽力したいと思います。

以上歓迎と決意のことばといたします。

2024年4月1日

学校法人大阪観光大学理事長

山本 健慈